

## IGA 専門部会報告

日本地熱学会評議員会

2009年7月17日

### 1. 第47回 IGA 理事会の概要

- 1) 期間:2009年5月5日～8日
- 2) 場所:スペイン、マドリッド

#### (1) IEA-GIA/IGA ワークショップ

- 1) 期間:2009年5月5日～6日
- 2) 参加者:50名(GIAより27名、IGAより23名)
- 3) ワークショップの趣旨は、世界の地熱エネルギーのポテンシャルの確認と開発目標について報告、議論し、最終的には IPCC の Special Renewable Energy Report の地熱セクションへ反映させることにあるとの冒頭説明。
- 4) 以下の議題でパネル形式で2日間議論した。
  - Geothermal Resource Potential
    - Geothermal Resource Types and Categories
    - Categories of Potential
  - Geothermal – Current use and current theoretical and technical potential
  - Future Geothermal Potentials – Technical and economic factors
    - Low temperature resources – potential for 2030 and 2050
    - High temperature resources – potential for 2030 and 2050
    - Contribution to the mitigation of climate change
- 5) 各国代表により熱の入った議論が2日間続けられた。特に印象深かったのはオーストラリアの熱の入り方とドイツの今後の計画。

#### (2) IGA 理事会

- 1) 期間:2009年5月7日～8日
- 2) 参加者:理事26名(日本からは山田が出席)、事務局1名
- 3) 議事概要:
  - ・2008年決算:収入\$47,046(予算\$39,300)、支出\$22,169(予算\$40,400)  
支出が予算を下回ったことは IGA News の電子化が大いに貢献している。
  - ・2009年予算:収入\$37,500、支出\$37,500  
コンティンジェンシから運営会社設立の費用を出す。
  - ・従来、IGA ボードメンバーによる内部監査のみとしていたが、外部監査を導入すべきではないかとの意見あり、今後検討する。費用は\$1,000程度。
  - ・ヨーロッパ支部、西太平洋支部による各教育イベントの計画の報告あり。WGC2010でのショートコースの計画経過についても報告された。

・会員について、インドネシアの会員数が急増していることが報告された。(100→480)

・2010年の理事改選へ向けてのスケジュールが報告された。概略次の通り。

2009年6月 一期目の理事への通知

2009年7月 会員団体への候補者選出の案内

2009年11月 会員団体からの候補者締切

会員団体からの候補者の他、Nominating Committee 推薦による候補者も計画される。特に団体が会員となっていない地熱国(インド、チリ、パプアニューギニア)や会員数の少ない地域(アフリカ)からの候補者を考慮する。

・WGC2010の状況が報告された。すでに参加登録も入っており、エジプト、サウジアラビアからの申し込みもある。論文アブストラクトは1,353件受け付けた。これは2005年のときの約900件に比べ非常に多い。

・IGA 運営会社の設立について議論された。設立する方向で検討を進めることが決まった。

・次回、第48回理事会はエルサルバドルで10月29日に開催予定。各委員会は28日に開催予定。

・第49回理事会はWGC2010開催直前の2010年4月25日に開催する。

### (3) WGC2015の開催候補地のプレゼンテーション

アイスランド(レイキャビク)、ドイツ(ミュンヘン)、オーストラリア・ニュージーランド(メルボルン)によるプレゼンテーションが第47回IGA理事会において行われた。

今後アドホック委員会による評価がまとめられ、その後IGA理事による投票で2015開催地を決める。

以上